

炎天下でのモルタル工事をサポート!

凝結遅延剤

レイトコン






急激な硬化を
緩和します。

日環五材株式会社

商品形態

レイトコン 4kg×4本／1ケース

特長

- 1**  **凝結遅延効果**
夏期の土間工事で、凝結遅延効果(30分～1時間)により作業効率が大幅にアップします。
- 2**  **乾燥収縮の低減**
レイトコンはセメント硬化体の毛細管に直接作用し乾燥による収縮が大幅に低減するため、モルタルの内部応力が小さくなります。
- 3**  **ひび割れ抑制**
表面に発生するクラックを抑制します。
- 4**  **耐久性の向上**
ひび割れが少なくなることからモルタルの劣化を抑制します。
- 5**  **分散性良好**
液体の為、添加時の混ざりが早いです。

使用方法

モルタル及びコンクリートに混入してお使い下さい。
 その際、レイトコンの量は単位水量の一部として設計して下さい。

標準使用量

セメント25kg	0.4kg
生コン1m ³	4kg
生モル1m ³ (1:3)	6kg

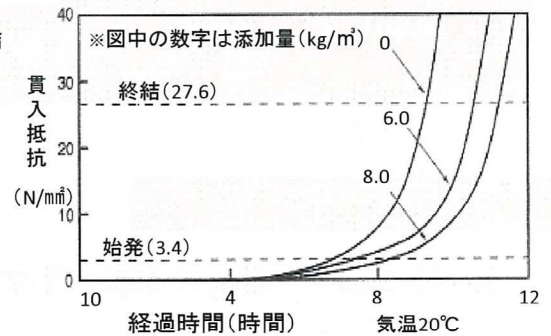
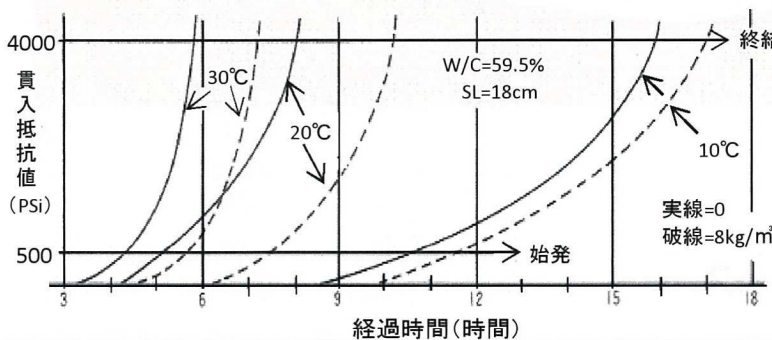
※気温に応じて2倍迄の範囲で調整してお使い下さい。

凝結時間

試験コンクリートの配合

W/C (%)	温度 (°C)	レイトコン (kg/m ³)	S/a (%)	単位量 (kg/m ³)				SL (cm)	Air (%)	温度 (°C)	圧縮強度 (kgf/cm ²)	
				C	W	S	G				7日	28日
59.5	20	0	43	311	185	956	831	17.0	5.2	21.0	182	265
		8									18.0	4.8

20°Cで練り混ぜたコンクリートを10°C、20°C及び30°Cの雰囲気中に静置し、プロクター貫入抵抗値から凝結時間を求めました。結果は下記に示すように、レイトコンを混和することによって、始発・終結時間とも1~2時間遅延されます。



※図中の数字は添加量 (kg/m³)
 ※添加量による凝結時間の変化
 6kg/m³添加で1~1.5時間
 8kg/m³添加でおよそ1.5~2時間の遅延となります。

使用上の注意

→ 空気の調整について

混和コンクリートの空気量は2~4%程度となります。必要に応じてAE剤を併用して下さい。添加量については試し練りにてご確認下さい。併用使用するAE剤はロジン系を使用して下さい。それ以外のAE剤を使用すると、時間経過と共に空気量が増大する恐れがあります。推奨AE剤については弊社までご相談下さい。

→ アジテータトラックの限定について

混和したコンクリートを運搬するアジテータトラックは限定車として使用し、他のコンクリートを積み込まないよう注意下さい。

→ ミキサ・アジテータトラックの洗浄について

混和したコンクリートを練り混ぜたミキサで普通コンクリートを練り混ぜる際は、混和コンクリートを充分洗浄した後に練り混ぜを行って下さい。

また、混和したコンクリートを運搬したアジテータトラックに普通コンクリートを積み込む際も、混和コンクリートを充分洗浄した後に積み込みを行って下さい。洗浄せずに練り混ぜや積み込みを行うと普通コンクリートの空気量が大幅に増大します。

尚、洗浄時に大量の泡が発生しますので、消泡剤を用いて洗浄し、洗浄水は回収水として極力使用せず破棄して下さい。戻りコンクリートについても破棄して下さい。

→ 表面仕上げについて

混和したコンクリートは未混入コンクリートに比べ凝結が遅れます。表面仕上げのタイミングが早すぎると、レイタンス層が表面に残ったままとなり、表面剥離の原因となりますので、特に冬場の仕上げ面積の大きな土間やスラブ施工には注意願います。

→ 寒冷地での使用について

混和したコンクリートは凍害を受ける恐れがありますので、寒冷地での使用には充分配慮下さい。

→ 浸食について

一部のペイント類や合成樹脂を侵す可能性がありますので、付着した場合は、水で洗い流して下さい。

→ その他用法・保管・廃棄について

使用の際は保護眼鏡・ゴム手袋等を着用し、製品安全データシートに定める取扱い方法を遵守して下さい。

日藻五材株式会社

〒174-0043 東京都板橋区坂下2-13-18
 TEL.03(5392)1007(代) FAX.03(5392)1023